

特色ある国際共同利用・共同研究拠点 申請書記入要領

I 共通留意事項

- ・申請書はすべて日本工業規格A4版で作成してください。
- ・文字の大きさは9pt～12pt程度で作成してください。
- ・作成に当たって、文字数の超過等により、不自然な罫線のずれや改行等が生じた場合は、読みやすい形で適宜修正を施し作成してください。
- ・様式にあらかじめ※記号で記載されている留意事項及び記入例は削除して作成してください。
- ・申請書類の提出に当たっては、公募要領P51を確認してください。
- ・国際拠点の申請に当たっては、学長からの申請としてください。
- ・ネットワーク型拠点の申請に当たっては、研究施設毎に申請書を作成し、中核機関によるとりまとめの上、提出してください。（中核機関を先頭にして提出してください。）
- ・連携ネットワーク型拠点の申請にあたっては、上記に加え、連携施設について別途指示する書類を提出して下さい。

II 申請書

- ・申請書は別紙1～6を除いて、10ページを目安に作成してください。
- ・「申請者」欄は、学長の氏名を記入してください。
- ・「拠点の名称」欄は、○○○○○拠点というように記入してください。
- ・「申請施設の名称」欄は、拠点となる組織の名称を記入してください。（例：○○○研究所）
なお、複数の施設がネットワーク型又は連携ネットワーク型の国際拠点（以下「ネットワーク型拠点等」という。）を構成する場合は、以下の例のように記入してください。

（例）

○○○研究所

（ネットワーク型国際共同利用・共同研究拠点を構成する他施設）

（連携ネットワーク型国際共同利用・共同研究拠点を構成する他施設）

□□大学□□□研究所（中核拠点）

△△大学△△△研究センター

◎◎大学◎◎◎センター

- ・「研究分野」欄は、国際拠点の研究分野を記入してください。なお、科学研究費助成事業の審査区分表の小区分を参考に記入してください。
(https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/shinsakubun.html)

1. 国際共同利用・共同研究拠点の全体概要

- ・「(1) 国際共同利用・共同研究拠点の目的・概要」欄は、国際拠点の目的、国際拠点を目指す理由、全体計画の概要、国際拠点の目指す役割、国際拠点形成の必要性について記入してください。
ネットワーク型拠点等の場合は、ネットワーク型拠点等とする必要性についても記入してください。
また、上記の各項目において、建学の精神、地域の個性やニーズ、学問領域の新規性等の特色を踏まえた内容を含めて記入してください。

- ・「国際拠点に対する大学としての基本的考え方」を【別紙1】に記入してください。
- ・「(2) 期待される効果、意義」欄は、国際拠点として実現を目指す目標、国内の関連研究者への波及のための取組、関連研究者コミュニティや全国的な学術研究の発展、若手研究者の育成にどのように寄与するかなどについて記入してください。
ネットワーク型拠点等の場合は、ネットワーク型拠点等として期待される相乗効果についても記入してください。
- ・「(3) 申請施設が国際的な研究活動の中核であるとする根拠」欄は、当該分野の世界的研究拠点と比較した申請施設の学術的レベル、国際的な水準に照らし質の高い研究資源の保有状況、国際的に優れた研究実績、著名な研究者の在籍状況等、申請施設が国際的な研究活動の中核であることの根拠等について記入してください。
- ・「(4) 国際共同利用・共同研究拠点の体制」欄は、当該拠点の運営委員会等を中心とした体制を記入してください。その際、全体的な体制が分かるように組織図等を用いて記入してください。ネットワーク型拠点等の場合は、ネットワーク型拠点等の構成図と役割分担を記入してください。

2. 申請施設の概要

- ・申請施設の組織、人員、予算等を記入してください。ネットワーク型拠点等については、当該申請施設の概要を記入してください。
- ・人員を記入する表（以下、人員記入表）は、平成31年4月1日現在の現員数を記入してください。今後、拠点化に当たり、学内措置等により、申請施設における人員の拡充等を予定している場合は、人員記入表を追加して、予定の人員の内訳を記入してください。
- ・予算は、申請施設の運営に係る人件費、運営費、研究費等を記入してください（前年度決算額）。その際、競争的資金等の外部資金は含めないでください。ただし、申請施設の運営に大きく関わっている競争的資金等の外部資金がある場合は、その内訳を記入してください。
- ・「申請施設における主な競争的資金等の採択状況」を【別紙2】に記入してください。その際、申請施設において令和元年度に現在受け入れている又は申請を行っている、申請施設の研究活動を代表する主な競争的資金等を4ページで収まる分量を目安に記入してください。
- ・「申請施設におけるこれまでの主な研究実績（成果等）」を、【別紙3】に、以下の要領で記入してください。

1. 研究成果等の状況

(1) 主な研究実績（成果）

- 過去3年間における当該研究施設等の研究者による国際的な水準に照らして質が高いと認められる主な研究成果について、3件まで厳選して記入してください。

(2) 受賞状況

- 過去3年間における当該研究施設等における研究者の国際的な賞の受賞状況について、代表的なものを5件まで厳選して記入してください。

(3) 申請施設に所属する者が発表した論文の総数

- 申請施設に所属する研究者により発表された学術論文（共同利用・共同研究による成果であるか否かを問わない）について、総論文数、国際共著論文数及びTOP10%補正論文数について、年度別、区分毎に記入してください。

※TOP10%補正論文数について

研究の実績やその水準は、論文数、国際共著論文の数・割合等、複数の実績から総合的に判断しますが、可能な限り算出するよう努めてください。なお、例えば、「Web of Science」や、「Scopus」を用いて以下のとおり算出する方法がありますので参考にしてください。また、今回の公募においては必ずしも「補正」をする必要はありません。

- ① 出版年・該当する分野（※1）を設定して検索し、当該分野に係る論文を抽出
- ② 抽出した論文を引用数の順番で並べ、上位10%（※2）以内の論文を抽出
- ③ ②で抽出した論文の中に該当する研究者が記載した論文の本数を算出（※3）

※1 検索する分野の設定に当たっては、「科学研究のベンチマーキング 2017」（<http://www.nistep.go.jp/wp/wp-content/uploads/NISTEP-RM262-FullJ.pdf>）P9「図表6」の分野分類のまとめを参考にしてください。

※2 被引用数上位10%で正確に閾値を設定できない場合には、閾値は低いほうを設定してください。

※3 ③の抽出の結果、対象となると思われる論文が掲載されていなかった場合、10%以下である可能性と、収録されている論文が他の分野に分類されている可能性があります。論文の分野を確認するには、例えば、「Web of Science」では、「<http://ipsciencehelp.thomsonreuters.com/incitesLiveESI/ESIGroup/overviewESI/esijournalsList.html>」から、「Scopus」では「<http://jp.elsevier.com/online-tools/scopus/content-overview>」からジャーナルリストをダウンロードし、分野を確認することができます。

※4 上記以外の方法で「TOP10%補正論文」の数値を記載した場合には、算出方法を欄外に記載してください。

2. 国際的な活動状況

(1) 国際的な研究プロジェクトへの参加状況

○諸外国の研究機関等において実施されている国際的な研究プロジェクトへの参加状況について、相手国名・研究機関名、研究プロジェクト等の概要及び関係研究者名を記入してください。

○プロジェクト等の概要には、プロジェクト名、プロジェクト概要に加え、規模や参加国等についても記入してください。

(2) 国際的な研究プロジェクトの長を務めた研究者の在籍状況

○諸外国の研究機関等において実施されている国際的な研究プロジェクトの長を務めた研究者の在籍状況について記入してください。

(3) 有力な国際会議等での講演・発表・報告等の実施状況

○申請施設の所属する研究者の有力な国際会議等での講演、発表、報告等の実施状況について記入してください。

※ 事例について、数が膨大になる場合は、主なもの5件に厳選して記入してください。

※ 「形態（区分）」については、講演、発表、報告等の別を記入してください。

(4) 研究者の海外派遣状況・海外研究者の招へい状況

○研究者の海外派遣状況・海外研究者の招へい状況について、文部科学省事業、日本学術振興会事業、当該法人による事業、その他（政府機関の事業、国際交流基金、JICA、外国政府の事業等）に区分して派遣者数を延べ人数で記入してください。

○派遣先、招へい元国について、①アジア、②北米、③中南米、④ヨーロッパ（NIS 諸国含）、⑤オセアニア、⑥中東、⑦アフリカの7つの地域に区分して人数を記入してください。

(5) 学術国際交流協定の状況

○当該研究施設等が、諸外国の研究機関との間で締結している学術国際交流協定について、締結されている協定全てを記入してください。なお、協定期間終了後自動更新されるものについては、終了予定年月欄に「〇年ごとに自動更新」と記入してください。

○学術国際交流協定に基づき研究員の受入及び派遣を行った場合は、協定ごとに受入・

派遣人数を記入してください。

※ 外国語で締結された協定書については、和訳を併記してください。

※ 大学間で締結された協定は含みません。

※ 分野欄は、具体的に記入してください。(可能な範囲で、科学研究費助成事業の審査区分表における小区分を参考に記入してください。)

(6) 国際研究協力活動の状況

○国際研究協力活動の状況について、事業名称等とその概要、受入・派遣人数を記入してください。

3. 人材育成等に関する取組状況

(1) 大学院生等の受入状況

○研究指導を行うために当該研究施設等に受け入れている大学院生等について、それぞれの区分に従い、実績を記入してください。

○学生ではない研究生を含める場合は、欄外に「研究生〇名を含む」旨を記入してください。

(2) 当該研究所等・施設を利用して学位を取得した大学院生数

○当該研究施設等の研究で博士号を取った大学院生数の数について、学内と学外に分けて、記入してください。

(3) 留学生の受入状況

○留学生受入総数を記入してください。

○留学生の出身国について、①アジア、②北米、③中南米、④ヨーロッパ (NIS 諸国含)、⑤オセアニア、⑥中東、⑦アフリカの7つの地域に区分して人数を記入してください。

(4) 女性研究者や外国人研究者など人材の多様性確保のための支援・取組状況

○女性研究者や外国人研究者などの人材の多様性を確保するために行っている特徴的な取組(待遇面における柔軟な人事制度の整備、職員の配置の工夫、施設・設備の整備等)について記入してください。

(5) 研究不正、不適切な会計処理等に係る倫理教育の実施状況

○研究費不正等の防止のためのコンプライアンス教育等の実施状況について記入してください。

・将来の国際的な研究ネットワークの核となる若手研究者の育成のための取組について、若手研究者の自立支援や登用を進めるための環境整備の状況や国内外の大学院生の教育に対する関与の状況等について記入してください。

・学則その他大学の内規で申請施設の設置を規定しているものの写しを添付してください。

3. 共同利用・共同研究の状況

・「(1) 共同利用・共同研究に供する施設、設備、資料、データベース等の整備・利用状況」を、【別紙4】に、過去3年度(平成28~30年度)分の実績を別葉で記入してください。申請施設が保有する施設、設備、学術資料・データベース等、概要及び利用数、アクセス数等を記入してください。また、世界/国内最高性能(規模)を持つ施設・設備(資料等)の場合は、「性能」欄に○(世界最高)/△(国内最高)を記入し、「概要」欄にどの点が世界/国内最高性能(規模)であるのかを記入してください。

なお、申請時点において、令和元年度内に、利用数等の大幅な増加がある場合は、令和元年度分を別葉で作成(追加)し提出いただいてもかまいません。

・「(2) 申請施設が中心となった主な共同利用・共同研究の実績・成果」を、【別紙5】に、以下のとおり記入して下さい。

1. 共同利用・共同研究による特筆すべき国際的な研究成果

- 平成 28 年度～平成 30 年度における共同利用・共同研究による特筆すべき国際的に優れた研究成果について、5 件まで厳選して記入してください。
- 「成果の概要」には、共同利用・共同研究による国際的な研究成果や、学術、科学技術あるいは社会などへの波及効果、また、論文の引用状況や高いインパクトファクターを持つ雑誌等への掲載状況等の定量的な指標等を具体的に記入してください。

2. 共同利用・共同研究が発展したプロジェクト等

- 平成 28 年度～平成 30 年度において、プロジェクト研究に発展した共同利用・共同研究がある場合、そのプロジェクト研究の名称と財源（国の補助事業等）、期間、概要を記入してください。

3. 共同利用・共同研究課題の実施状況

- 共同利用・共同研究課題の実施状況について、新規分と継続分について、公募型及び公募型以外に分けて、実績を記入してください。
- また、国際共同研究について、「国際共同研究の実施内容」欄に、平成 28 年度～平成 30 年度における主なもの 5 件に厳選して記入してください。

4. 共同利用・共同研究への参加状況

- 共同利用・共同研究の受入機関数、受入人数、延べ人数について、区分に応じて記入してください。
- ※ 外国人、若手研究者（35 歳以下）、大学院生の人数はそれぞれ受入人数、延べ人数に対する内数を記入してください。
- ※ 「受入人数」及び「延べ人数」の算出方法は、以下の例に基づき算出してください。
(例) ①一つの共同利用・共同研究課題で 2 人を共同研究員として 3 日間受け入れた（参加した）場合：受入人数 2 人、延べ人数 6 人
②同一人物が 2 つの共同利用・共同研究課題（課題 A、課題 B）に参加し、課題 A に 3 日間、課題 B に 4 日間参加（来所）した場合：受入人数 2 人、延べ人数 7 人

5. 共同利用・共同研究による成果として発表された論文数

- 共同利用・共同研究による成果として発表された学術論文について、年別、区分毎に記入してください。
- ※ 「TOP10%補正論文」については、「1. 研究成果等の状況 (3) 申請施設に所属する者が発表した論文の総数」を参照してください。
- ※ 学内の紀要等に発表されたものは対象外とします。
- ※ 区分については、科学技術政策研究所が実施している「科学研究のベンチマーキング 2017 (<http://www.nistep.go.jp/wp/wp-content/uploads/NISTEP-RM262-FullJ.pdf>)」本編 9 ページ(6) 分野分類の図表 6 にある研究ポートフォリオ 8 分野（化学、材料科学、物理学、計算機・数学、工学、環境・地球科学、臨床医学、基礎生命科学）に人文・社会科学を追加した 9 区分で集計してください。なお、融合分野など完全にあてはまる分野がない場合でも一番近いと思われる分野に集計してください。
- ※ 括弧内に申請施設に所属する者（大学院生を含む）が、特に重要な役割・高い貢献（ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー等）を果たしている論文数（内数）を記入し、ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー以外で、論文における重要な役割を果たしているものとして、内数に計上しているものがある場合は、その役割も記入してください。

6. 分野の特性に応じた、論文以外の指標

○分野の特性に応じた適切な評価指標がある場合は、当該指標と当該分野におけるその評価指標の妥当性・重要性を記載するとともにその成果の実績を記入してください。なお、人文・社会科学分野は「7」に記載してください。

7. 人文・社会科学分野の特性に応じた、論文以外の指標

(1) 英語又は英語以外の外国語で書かれ、海外で刊行された単著・国際共著書、英語又は英語以外の外国語で書かれた国際会議の報告書、研究対象国の言語で書かれ、研究対象国の有力ジャーナルや研究書に掲載された論文の刊行実績（出版社名を含む）

○申請施設において、上記のうち適切な指標を選択し（複数でも可）、平成28年度～平成30年度の実績を記入してください。

(2) 研究成果やデータベース等の学術資源が国際機関や外国政府・中央銀行等の政策や調査報告書及び海外の研究機関の調査報告書等で利用・引用された実績

○申請施設において、上記のうち適切な指標を選択し（複数でも可）、平成28年度～平成30年度の実績を記入してください。

(3) 有力な国際会議や海外での会議・研究会への招待講演・招待発表・招待報告の実績

○申請施設において、上記のうち適切な指標を選択し（複数でも可）、平成28年度～平成30年度の実績を記入してください。

(4) (1)～(3)以外に分野の特性に応じた適切な評価指標がある場合は、当該指標と当該分野におけるその評価指標の妥当性・重要性を記載するとともにその成果の実績を記入してください。

4. 研究者コミュニティ等の状況

・関連する研究者コミュニティの分野、関連する学会等の名称、研究者コミュニティからの要望の概要等を【別紙6】に記入し、要望書等を別途添付してください。

5. 国際共同利用・共同研究拠点の体制

- ・「(1) 運営委員会の状況」欄は、運営委員会の国際拠点における位置付け・役割について記入してください。その際、設置規則（案）及び委員名簿（案）を別途添付してください。
- ・「(2) 国際的な動向を把握し、運営に反映するための体制整備の状況」欄は、国際的な動向を把握し、運営に反映するため、例えば、海外研究者をアドバイザーや外部評価委員、運営委員会等の委員に任命するなど、申請施設における取組等の状況について記入してください。
- ・「(3) 共同利用・共同研究の課題の公募方法」欄は、共同利用・共同研究拠点としての研究課題等の公募・採択方法を記入してください。なお、採択を審議する組織の設置規則（案）及び委員名簿（案）を別途添付してください。
- ・「(4) 共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対する支援体制」欄は、国際拠点の事務体制について、組織図等を用いて記入してください。また、外国人研究者のための英語による職務遂行が可能な職員の配置状況、宿泊施設の確保状況、申請施設の利用に関する技術的支援の状況等について記入してください。
- ・「(5) 共同利用・共同研究に関する情報提供・情報発信」欄は、外部の研究者等に対する共同利用・共同研究への参加の方法、利用可能な施設、設備及び資料等の状況等の情報の提供方法や、共同利用・共同研究による研究成果の対外的な情報発信の仕組み、シンポジウムの

開催状況等について記入してください。

- ・「(6) 全学的な支援の状況」欄は、国際拠点に措置することを予定している専任の研究者・教育研究支援者等や、若手研究者の育成の取組に対する支援状況（予算・人員の配分等）、学内で予定している予算措置等、拠点に対する学内の支援の状況を記入してください。